

設置事例

全国の多様な現場で導入されています。

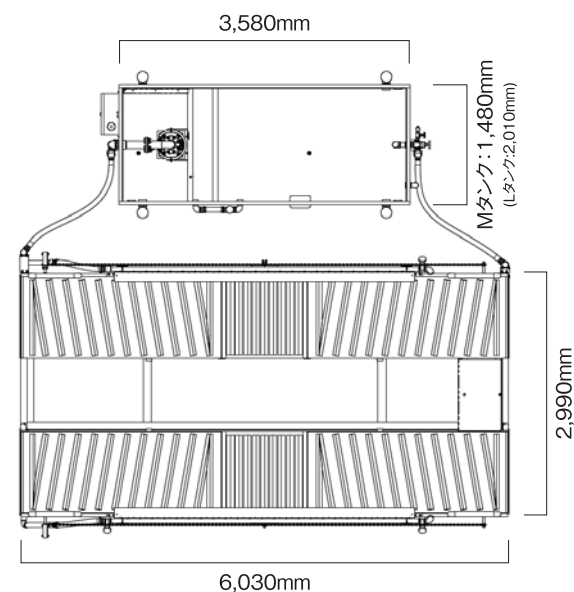
その機能と運搬・設置のしやすさ、ローコストが高い評価を受けています。
全国の多様な立地で、現場の要望に応えながら稼働中です。

動画でも
確認できます

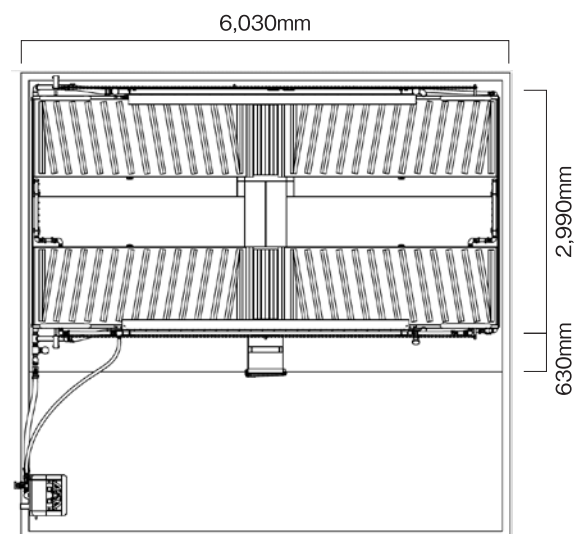


脱輪防止治具 (オプション)

●Type-A (標準タイプ)



●Type-C (自然排水タイプ)



仕様	単位	Type-A (標準タイプ)	Type-C (自然排水タイプ)	オプション	
				ロングバージョン	強化ロングバージョン
洗浄方式	—	ピット式クロス噴射方式	←	←	←
循環方式	—	強制循環式	自然排水式	強制循環 (自然排水op)	強制循環 (自然排水op)
通過車両	車両総重量	ton	22	22	36
	車両形式	—	後2軸ダンブトラック	後3軸トレーラダンブ	後3軸トレーラダンブ
洗浄ピット	貯水量	m ³	約3.3	約1.7	約2.5
	外形寸法 (本体部)	mm	2,990×6,030×777	2,990×6,030×777	3,090×7,030×777
標準給水タンク	重量	kg	約5,200	約5,350	約6,350
	貯水量	m ³	約6.5	約6.5	約6.5
大型給水タンク [オプション対応]	外形寸法 (突起物含まず)	mm	1,480×3,580×1,600	1,480×3,580×1,600	1,480×3,580×1,600
	重量	kg	約1,400	約1,400	約1,400
必要電源	貯水量	m ³	約9	約9	約9
	外形寸法	mm	2,010×3,580×1,600	2,010×3,580×1,600	2,010×3,580×1,600
必要電源	重量	kg	約1,600	約1,600	約1,600
	電力総容量 (三相200V)	kW	13.2	11.0	13.2
噴射ポンプ	発電機容量	kVA	45以上	35以上	45以上
	全揚程	m	35	35	15
循環ポンプ	吐出し量	m ³ /分	1.0	1.0	2.0
	全揚程	m	12	—	12
	吐出し量	m ³ /分	0.4	—	0.4

重量にはポンプ等の重量を含みますが、洗浄水重量は含まれません。

●車両総重量20tまでの普通ダンブトラックが対応車両となります。
 (対応車両について) ●過積載状態または全幅拡張 (ホイールナット含)、バンパー位置改造、車高を落とすなどした改造車には使用できません。
 ●タイヤの外幅が1.8m以下、または走行可能な水深が20cm以下の車両には使用できません。

◎製造・販売元

株式会社 桜川ポンプ製作所 担当部署
ブラッシュピット事業部

〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2-5-5
 TEL.0776-82-7864 / FAX.0776-82-7904
<https://www.sakuragawa.co.jp/>



◎販売店

●本機は改良のため、予告なしに変更する場合があります。掲載写真は実機と一部異なる場合があります。

2021.11

Brush PIT

ピット式タイヤ洗浄機【ブラッシュピット】



静かです、かんたん。



NETIS
登録番号
QS-200057-A

シンプル構造だから、静か。 ノンストップでカンタン洗浄!

ブラッシュピットは、構造、設置、運用の全てがシンプルなピット式のダンプトラックタイヤ洗浄機。
シンプルな構造だから、故障が少なく余計な手間やコストが生じません。
静かさと使いやすさで、現場の環境保全に貢献します。

使いやすいシンプル構造

ブラッシュピットは、洗浄ピット・給水タンク・ポンプのシンプル構造。
騒音や故障の原因となる駆動装置や油圧装置などの複雑な機構がありません。

- ◎余計な騒音がしない
機械的に動く部分がないため、作動音や回転音がしません。
- ◎余計なコストがかからない
機械的な機構がないため、故障が起きにくく、また、泥を沈殿させる凝固剤や清澄剤も不要です。
- ◎余計なリスクが発生しない
駆動部分や機械装置がないため、整備不良や駆動部への巻き込みなどのリスクを発生させません。

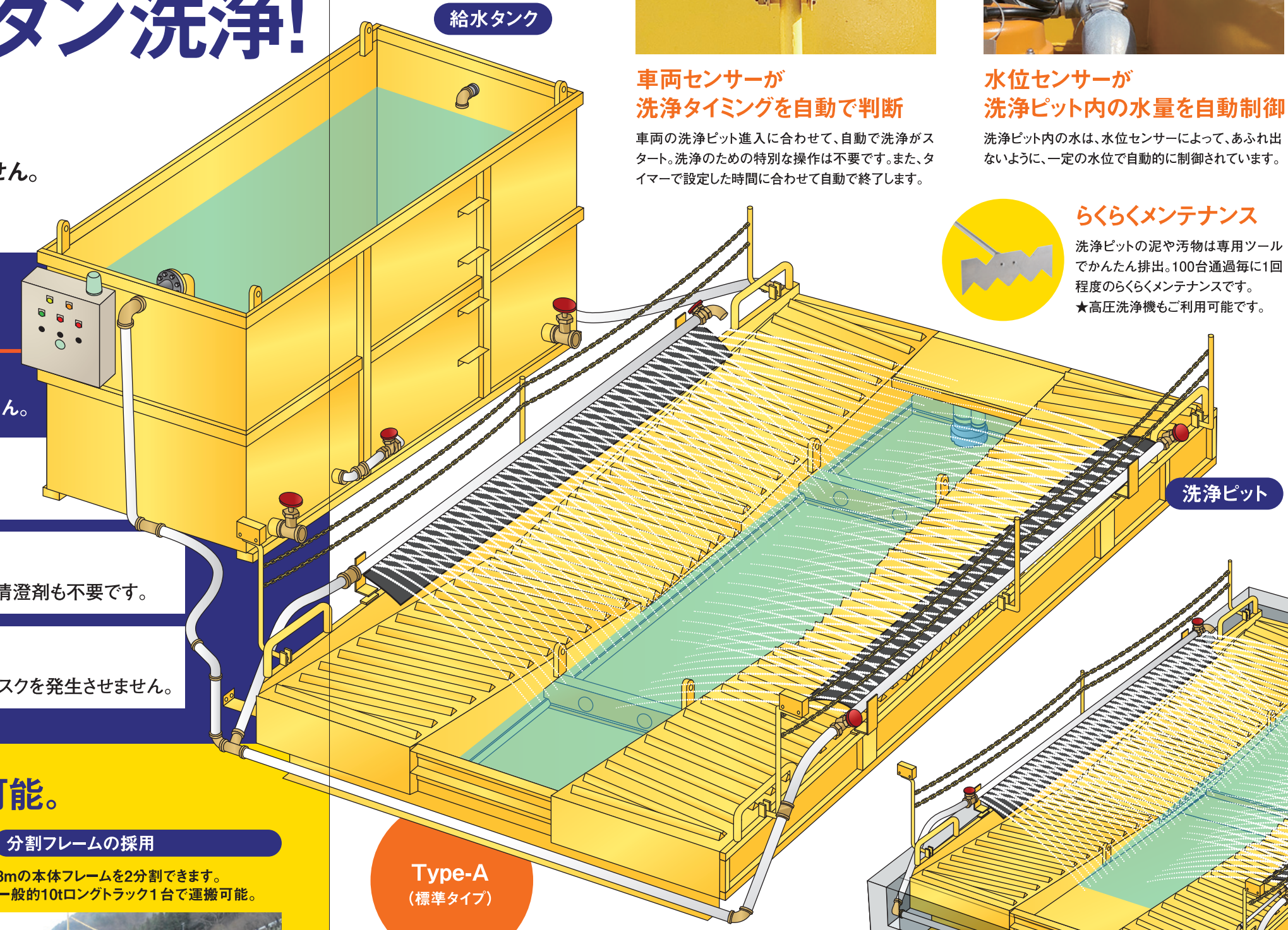
短時間での設置・稼働、効率的な運搬が可能。

設置例(埋設方式の場合)



- 設置の前に必要なこと
- ◎埋設方式(路盤掘削型)の場合、22~25mm厚の5尺×20尺の敷き鉄板2枚の設置が必要です。
 - ◎1次電源(三相200V13kw)と、洗浄水の定期的な補給が必要です。
 - ◎設置時および撤去時には25t以上のクレーン車が必要です。

★夜間および休日の安全対策 未使用時には、本体周囲に立入禁止警告用チェーンをかけることができます。制御盤は施錠が可能です。



給水タンク

**車両センサーが
洗浄タイミングを自動で判断**
車両の洗浄ピット進入に合わせて、自動で洗浄がスタート。洗浄のための特別な操作は不要です。また、タイマーで設定した時間に合わせて自動で終了します。

**水位センサーが
洗浄ピット内の水量を自動制御**
洗浄ピット内の水は、水位センサーによって、あふれないように、一定の水位で自動的に制御されています。

らくらくメンテナンス
洗浄ピットの泥や汚物は専用ツールでかんたん排出。100台通過毎に1回程度のらくらくメンテナンスです。
★高圧洗浄機もご利用可能です。

洗浄ピット

Type-A
(標準タイプ)

長期の現場に最適な、 自動排水・排土タイプ。

給水タンクを本体設置面より深く設置し、フレームの水や土が自然落下する機構へ。自浄装置により、排土作業も半自動化。毎分2~3台の連続洗浄が可能に。

Type-C
(自然排水タイプ)



**路面のアングルが、
タイヤを強力グリップ**
走行路に敷きつめられたアングルが、タイヤのトレッドを広げ、泥落ちをよくするとともに、タイヤを強力にグリップし、安心走行を実現します。

クロス噴射の 強力洗浄

タイヤの前後から汚れを落とす、クロス噴射方式を採用。タイヤの細い溝や深い溝を強力に噴射洗浄します。



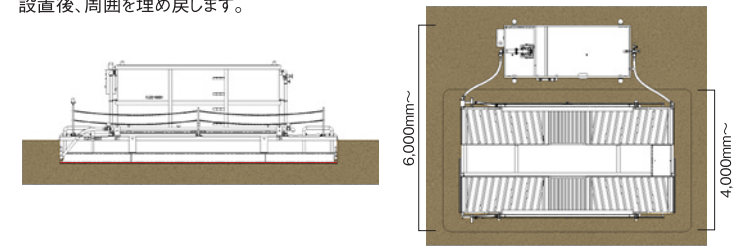
ノンストップのスピード洗浄

ドライバーは乗ったまま、洗浄ピットを通過するだけのノンストップ洗浄。一度洗浄ピットを通過するだけでタイヤの洗浄ができます。

現場の状況にあわせて、設置方法が選べます。

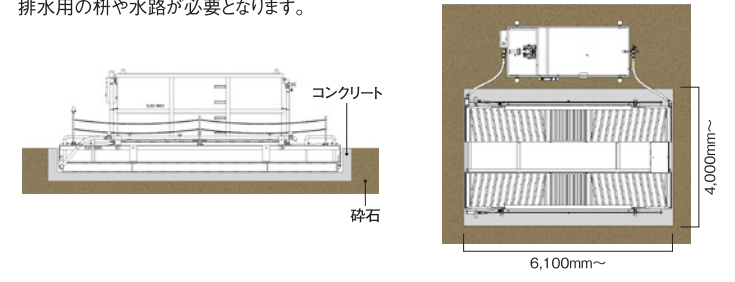
Type-A 埋設方式(路盤掘削型)

建設現場などに仮設する場合に適しています。約4m×7m×0.5m(深さ)の穴を路盤に掘削し、敷き鉄板を敷設します。設置後、周囲を埋め戻します。



Type-A 埋設方式(コンクリート基礎型)

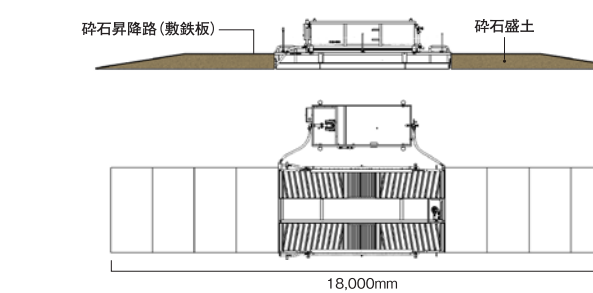
常設設備として工場や処分場に設置する場合に適しています。4m×6.1m×0.5m(深さ)のコンクリート基礎に加えて、排水用の枟や水路が必要となります。



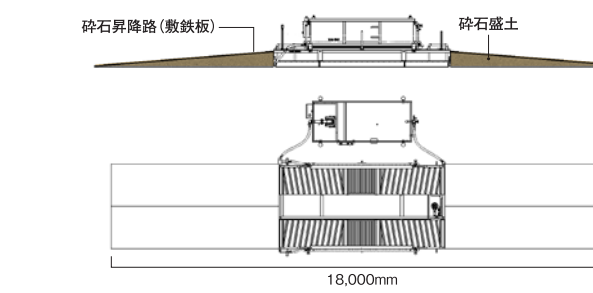
Type-A 地上設置方式(碎石昇降路型)

路盤掘削が困難な現場などへ短期仮設する場合に適しています。本体前後に各6mの碎石昇降路を造成します。両パターン選択可能です。

●5尺×10尺の鉄板を左右4枚ずつ設置するパターン



●5尺×20尺の鉄板を左右2枚ずつ設置するパターン



Type-A 地上設置方式(架台昇降路型)

埋設が困難な現場や工場などへ設置する場合に適しています。本体前後に各6mの架台昇降路を設置します。※通常より納期がかかります

